

三四八七番

梓弓あづさゆみ 末すゑに玉たま巻まき かくすすそ 寝ねなななりに  
し 奥おくをかぬかぬ

三四八八番

生おふし楮もと この本もと山やまの ましばにも 告のらぬ妹いもが  
名な かたに出いでむかも

三四八九番

梓弓あづさゆみ 欲よ良らの山やま辺への しげかくに 妹いもろを立たて  
て さ寝ね処ど払はらふも

三四九〇番

梓弓あづさゆみ 末すゑは寄より寝ねむ まさかこそ 人ひと目めを多おほみ  
汝なを端はしに置おけれ